

歯周病と糖尿病

糖尿病になると血糖が増え、合併症が起きやすいとされています



■糖尿病と歯周病の関係

糖尿病の高血糖の影響は口の中にもでてきます。

血液の循環が悪くなり、歯周病が発生してしまいます。

血管障害のため外的から体を守る働きをする白血球の働きが低下し、そのため歯肉は炎症を起こしやすく、**歯周病は重症化しやすい傾向**にあります。

また、歯の治療によって糖尿病であると判明した人もいます。糖尿病でない人に比べて、歯周病にかかっている人が**約2倍以上**もいるとのデータが報告されています。

歯周病防止のためには

糖尿病を進行させないこと・口の中の清潔を守ることが重要なポイントです。

- ★食後の歯磨きをかかさない
- ★歯と歯の間の汚れはフロスや歯間ブラシで取り除く
- ★定期的に歯科医院に行きメンテナンス（歯の掃除）を受ける

